

意見交換会概要

日時	平成25年 5月 12日 (日) 13 : 00 ~ 14 : 00
場所	宝木小学校
参加者数	約25人
出席者	木村次長、校区審議室(神谷、小谷、清水)、山田支所長、安藤副支所長、茅山課長補佐

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	気高中の耐震結果に絡み小学校の統合案も持ち上がったとの認識だが、中学校と並行しセットで小学校についても審議していくのか、中学校耐震問題と切り離し小学校の統合について検討していくのか。小学校で言うと耐震に問題があるのは浜村小学校のみで、改築というのみで考えた場合に統合小学校の場所は現：浜村小学校となる可能性が高いのでは。浜村となると通学距離の問題、通学方法の問題がある。統合小学校は跡地(既存小学校の敷地)ではなく、新たに用地を取得するなどの考えはないのか。
参加者 B	今、統合するは必要ない。地域に愛されて140年の歴史を誇る小学校である。単独校として存続できる間はこのままでいい。将来的に今以上に子どもが少なくなったら考えなければいけないが・・・今の小学校には不満も不安もなく、統合の話聞かされてもピンとこない。新たに統合となった場合のほうが、親としては不安が増すばかり。遠距離通学であったり、きめ細かな教育であるとかどうなるのか判らず心配は尽きない。教育委員会が決定するのか。学校規模の説明もあったが、今くらいの規模がちょうどいい。統合して生徒数が増えるのはいいが今の20人学級から45人学級になると教員の目も行き届かず、教員の負担も増大する。
参加者 C	今の発言に対して学校関係者として申し上げると、4小学校が統合した場合は教員数が増える。また児童数が増えても鳥取県では定員35名と決まっており、そう考えると今の宝木小学校の学級規模と変わらないまま、学級数が増える方向だろう。今の1学年1クラスであったら担任がすべてを一人で問題を抱え込む形だが、複数クラスがあると担任数も増え相談環境も整い教員の負担も減少する。それは子どもにも影響すること。早く統合を進めていただきたい。
参加者 D	ひかり保育園では瑞穂の子供と宝木の子供が一緒である。ただでさえ少ない人数であるのに小学校にあがると二つに分かれる。子ども同士、せっかく仲好くなったのに細分化する意図が分からない。中学校まで一緒でいいのでは。
参加者 E	検討期間は今年度末に意見集約としているが、その後の進め方はどうなるのか。スケジュールも示されていないし、意見集約の方法はどうか、など情報がないためわからない。
参加者 C	中学校についての話だが、仮に統合した場合、平成34年で生徒数は370人くらいになる。そうすると教員数はどれくらいになるのだろうか。簡単に計算すると教員数25人位は確保でき、今のような非常勤で複数の学校を担当するといったこともなくなり音楽や技術でも専任教員を置くことができる。安定した環境で教育に取り組める。今の資料では、統合したらこうなりますよという例も示されないため、ビジョンが見えず親も不安になり、マイナス意見がでるのではないだろうか。